

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】令和3年8月26日(2021.8.26)

【公開番号】特開2020-173888(P2020-173888A)

【公開日】令和2年10月22日(2020.10.22)

【年通号数】公開・登録公報2020-043

【出願番号】特願2020-122805(P2020-122805)

【国際特許分類】

| | | |
|--------|-------|-----------|
| G 11 B | 5/70 | (2006.01) |
| G 11 B | 5/735 | (2006.01) |
| G 11 B | 5/702 | (2006.01) |
| G 11 B | 5/738 | (2006.01) |
| G 11 B | 5/84 | (2006.01) |
| G 11 B | 5/78 | (2006.01) |

【F I】

| | | |
|--------|-------|---|
| G 11 B | 5/70 | |
| G 11 B | 5/735 | |
| G 11 B | 5/702 | |
| G 11 B | 5/738 | |
| G 11 B | 5/84 | C |
| G 11 B | 5/78 | |

【手続補正書】

【提出日】令和3年7月15日(2021.7.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

非磁性支持体の一方の表面側に強磁性粉末を含む磁性層を有し、他方の表面側に非磁性粉末を含むバックコート層を有し、かつ前記非磁性支持体と前記磁性層との間に非磁性粉末を含む非磁性層を有する磁気テープであって、

前記非磁性層の厚みは0.10μm以上1.50μm以下であり、

前記磁性層の表面ゼータ電位の等電点は3.8以下であり、かつ

前記バックコート層の表面ゼータ電位の等電点は3.0以下である磁気テープ。

【請求項2】

前記磁性層の表面ゼータ電位の等電点は2.5以上3.8以下である、請求項1に記載の磁気テープ。

【請求項3】

前記バックコート層の表面ゼータ電位の等電点は2.0以上3.0以下である、請求項1または2に記載の磁気テープ。

【請求項4】

前記磁性層は、酸性基を有する結合剤を含む、請求項1～3のいずれか1項に記載の磁気テープ。

【請求項5】

前記酸性基は、スルホン酸基およびその塩からなる群から選ばれる少なくとも一種の酸性基を含む、請求項4に記載の磁気テープ。

【請求項 6】

前記バッコート層は、酸性基を有する結合剤を含む、請求項1～5のいずれか1項に記載の磁気テープ。

【請求項 7】

前記酸性基は、スルホン酸基およびその塩からなる群から選ばれる少なくとも一種の酸性基を含む、請求項6に記載の磁気テープ。

【請求項 8】

前記非磁性層の厚みは、 $0.10 \mu m$ 以上 $1.00 \mu m$ 以下である、請求項1～7のいずれか1項に記載の磁気テープ。

【請求項 9】

請求項1～8のいずれか1項に記載の磁気テープを含む磁気テープカートリッジ。

【請求項 10】

請求項1～8のいずれか1項に記載の磁気テープと、磁気ヘッドと、を含む磁気テープ装置。